

指導範囲

たし算とひき算の指導上の系統

電卓が普及している今日では、大きな桁数の筆算を必要としません。したがって、計算技能としては基本的なアルゴリズムがすべて含まれている3位数の計算程度までを身につけていることが妥当です。そのうち、2年では、2位数どうしの加減及び簡単な場合の3位数の加減の筆算を扱い、3年で3位数の加減について扱うこととなります。

1年

- | | |
|---|------------|
| 6 たしざん(1) | 7 ひきざん(1) |
| 12 たしざん(2) | 14 ひきざん(2) |
| 15 0のたしざんとひきざん
(1位数,0)+(1位数,0),逆のひき算 | |

2年

- 4 たし算とひき算のひっ算(1)
(2位数)+(2位数)<100,
逆のひき算の筆算

- 2 たし算とひき算
(2位数)±(1位数)
(2位数)+(何十)<100,
逆のひき算

- 7 たし算とひき算のひっ算(2)
(2位数)+(2位数)100,
逆のひき算の筆算
3口のたし算
簡単な(3位数)±(2位数)の筆算

- 5 1000までの数
(何十)+(何十)>100と
(何百)+(何百)1000,
逆のひき算

3年

- 4 たし算とひき算の筆算
(3位数)±(3位数)の筆算

- 6 たし算とひき算
(2位数)±(2位数)の暗算

啓林館の教科書で「たし算とひき算のひっ算(2)」としている単元では、それまでの学習を生かし、十の位で繰り上がりがある筆算(繰り上がり1回)、一の位と十の位で繰り上がりのある筆算(繰り上がり2回)の計算を見出せるかがポイントになります。

また、2年で扱う3桁を含む筆算は(3位数)±(1,2位数)で、百の位へ繰り上がりのない計算と百の位から繰り下がりのない計算とに限定されています。これらの計算を指導することで、2位数までの計算が確実に理解できることを目的としていますので、前後の学習の範囲を確認しながら指導するようにしましょう。



Handwriting practice lines consisting of seven horizontal dashed lines on a light yellow background.

しき $5 + 3 = 8$
「5たす3は8」

こたえ 8こ

Illustration includes a cartoon pencil character holding a plus sign and an equals sign, and two boxes of five orange circles each.

150は $90 + 70$ より 小さい $150 < 90 + 70$
150は $90 + 60$ と ^{おな} 同じ $150 = 90 + 60$
150は $90 + 50$ より 大きい $150 > 90 + 50$

Handwriting practice lines consisting of three horizontal dashed lines on a light yellow background.

